

作成日:平成14年 4月 1日

改訂日:平成28年 1月 6日

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品の名称 モイス

一般名 繊維混入けい酸カルシウム板

会社名 アイカテック建材株式会社

住所 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北6丁目5番15号 アイカ東京ビル2階

担当部門 生産技術部

担当者 品質保証G

電話番号 03-5912-0741

FAX番号 03-5912-0750

2 危険有害性の要約

GHS分類:混合物としての評価^{注)}

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性/引火性ガス	分類対象外
	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性/酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	区分外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	区分外
	有機過酸化物	区分外
	金属腐食性物質	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	分類不可
	急性毒性(経皮)	分類不可
	急性毒性(吸入:気体)	分類対象外

	急性毒性 (吸入:蒸気)	分類対象外
	急性毒性 (吸入:粉じん)	分類不可
	急性毒性 (吸入:ミスト)	分類対象外
	皮膚腐食性/刺激性	分類不可
	目に対する重篤な損傷/目刺激性	分類不可
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類不可
	生殖細胞変異原性	分類不可
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類不可
	特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	区分1
	特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	区分1
	吸引性呼吸器有害性	分類不可
環境有害性	水生環境有害性 (急性)	分類不可
	水生環境有害性 (慢性)	分類不可

注) GHS 分類のための情報、知見が入手不可である成分は評価に含まない又は分類不可とした

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報: 切断加工などで生じる粉じん吸入により発がんのおそれ

切断加工などで生じる粉じん吸入により臓器(呼吸器系)の障害のおそれ

切断加工など生じる粉じんの長期または反復ばく露による臓器(呼吸器系・腎臓)の障害のおそれ

(なお、切断加工などを行わず、据付け・組込み作業のみを行う場合には粉じんの発生はありません)

注意書き:

【安全対策】 必要に応じて呼吸用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けて下さい。

粉じんを吸入しないで下さい。

取扱い作業場所で飲食または喫煙をしないで下さい。

取り扱い後はよく手を洗って下さい。

【応急措置】 気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

【保管】 水濡れしないようにして下さい。

【廃棄】 都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託をして下さい。

3 組成及び成分情報

単一製品、混合物：混合物

化学名 :

	CAS 番号	官報公示 整理番号	含有量(%)	安衛法 ¹⁾ 通知 対象物	P R T R 法 ²⁾	
					第一種	第二種
けい酸カルシウム	1344-95-2	1-194		非該当	非該当	非該当
ワラストナイト	13983-17-0	対象外		非該当	非該当	非該当
有機繊維	—	対象外		非該当	非該当	非該当
結晶質シリカ	14808-60-7	1-548	1~10	312	非該当	非該当

1)労働安全衛生法, 2)特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

注) 主成分及び上記法律 1)2)の対象物質、その他危険有害性があると思われる原材料について表中に記載

4 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。
- 皮膚についた場合 : 付着した部分を石鹼水で洗浄し、やや熱めの温湯で洗い流して下さい。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当てを受けて下さい。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。
- 眼に入った場合 : 異物感がなくなるまで清水で洗浄して下さい。眼をこすらないで下さい。目の刺激が持続する場合は、医師の手当て、診断を受けて下さい。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。
- 誤飲した場合 : 口をすすいで下さい。気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けて下さい。

5 火災時の措置

不燃性なので、火災時の措置は特にありません。

6 漏出時の措置

本製品が壊れ、床面などに粉じんがこぼれた場合は、速やかに粉じんが飛散しないように静かに清掃し、空容器や袋等に詰めて、一般産業廃棄物と同様の扱いとして下さい。

7 取扱い及び保管上の注意

[取扱い上の注意]

切断などの加工を行う場合は、粉じんが発生するおそれがありますので、次の点に注意して下さい。

- ・ 電動工具で切断などをする場合は、局所排気装置・集じん装置を設置して下さい。
- ・ のこぎり、やすりなどの手動工具で切断などをする場合は、呼吸用保護具を着用して下さい。
- ・ 作業衣などに付着した場合は粉じんの飛散に留意して取り除いて下さい。
- ・ 取扱い後は、うがい及び手洗いを励行して下さい。

また、使用済みの本品を取り換える際に、粉じんが発生するおそれがありますので、作業時には湿潤化を推奨します。

[保管上の注意]

安全上問題はありませんが、品質上水濡れ厳禁とし、常温常湿の屋内保管として下さい。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 質量濃度（吸入性粉じん）… $3.0/(1.19 \times Q + 1)$ mg/m³

（Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率％）

許容濃度： 日本産業衛生学会(2010)許容濃度の勧告値：

遊離けい酸 10%未満の鉱物性吸入性粉じん… 1 mg/m³, 総粉じん… 4 mg/m³

結晶質シリカ（遊離けい酸）… 0.03 mg/m³

ACGIH（米国産業衛生専門家会議）による許容濃度（2010）：

結晶質シリカ（遊離けい酸）… 0.025 mg/m³

設備対策： 室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備えて下さい。

保護具：

・呼吸用保護具

切断などの作業をする場合は、作業に適した呼吸用保護具を着用して下さい。

なお、防じんマスクを使用する場合は、取替え式と使い捨て式のいずれでもかまいませんが、必ず国家検定合格品を使用して下さい。また、防じんマスクの装着にあたっては、顔面への密着の状態に特に留意するとともに、取替え式防じんマスクについては、フィルタの点検と交換、吸排気弁の劣化確認等の保守管理を適切に行って下さい。

・保護めがね

必要に応じて、ゴーグル、サイドシール付き保護めがねなど作業に適した保護具を使用して下さい。

・手袋・作業衣

手袋、長袖の作業衣など作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにして下さい。

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状: 固体、板状

色: 白色～灰色

見掛け密度: 約 0.6～1.2g/cm³

臭い: なし

10 安定性及び反応性

通常の保管および取扱いの条件においては、安定である。

11 有害性情報

急性毒性 (経口)	分類不可
急性毒性 (経皮)	分類不可
急性毒性 (吸入: 気体)	分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類対象外
急性毒性 (吸入: 粉じん)	分類不可
急性毒性 (吸入: ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	水に濡れた状態で長時間触れると皮膚が荒れることがあるが、データ不足、分類不可
眼に対する重篤な損傷・刺激性	物理的刺激はあるがデータ不足、分類不可
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足、分類不可
生殖細胞変異原性	石英以外の情報がないため分類不可とした
発がん性	石英を 0.1%以上含有することから区分 1 A とした
生殖毒性	データ不足、分類不可
特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露	石英を 1.0%以上含有し、切断加工等時に粉じんばく露の可能性があるので区分 1 とした
特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露	石英を 1.0%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分 1 とした
吸引性呼吸器有害性	データ不足、分類不可

[その他成分の情報]

・ワラストナイトの情報

ガン原性: IARC グループ 3 (ヒトに対する発がん性については分類できない)

・結晶質シリカの情報

急性毒性: なし

ガン原性: IARC グループ1 (ヒトに対して発がん性がある。)

慢性毒性: 長期間、多量に結晶質シリカを吸入したとき、じん肺などを起こすおそれがある。

その他 : 短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすおそれがあるガン原性: IARC グループ1 (ヒトに対して発がん性がある。)

1.2 環境影響情報

水生環境有害性 (急性): データ不足、分類不可

水生環境有害性 (慢性): データ不足、分類不可

1.3 廃棄上の注意

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物になります。産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って適正に処理して下さい。本製品の産業廃棄物の分類は、「がれき類」または「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」に該当します。本製品は安定型処分場で埋め立て処分できる廃棄物です。

解体・改修等、施工済みの製品を取り外す場合には、粉じんを発生しないよう、手ばらしを推奨致します。止むを得ず、重機等で破碎解体する場合は、製品を水等で湿潤化させ粉じん等が飛散しないよう注意して下さい。

1.4 輸送上の注意

危険性はありませんが、輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないように注意して下さい。

国連分類: 該当なし

国連番号: 該当なし

1.5 適用法令

労働安全衛生法	通知対象物質(シリカ)
粉じん障害防止規則	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業(粉じん則別表1の6号)
じん肺法	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業 (じん肺法施行規則別表6号)
毒物及び劇物取締法	適用なし
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	適用なし

1.6 その他の情報

[参考文献]

- 1) 厚生労働省: 作業環境測定対象物質の管理濃度・許容濃度等一覧 (資料番号-6)
- 2) 許容濃度等の勧告(2015年度)日本産業衛生学会(2015.5.14): 産衛誌 57 巻, 2015
- 3) 発がん性物質の分類とその基準(第7版): (社)日本化学物質安全・情報センター(2007)
- 4) 化学物質総合情報提供システム: 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)
- 5) JIS Z 7253:2012 (GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS))

記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報もれがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値では有りません。また、注意事項は、通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

以上